

Q5-1. 熊本地震で被災した立野ダム周辺の復旧や地すべり対策に多額の費用と時間がかかると思いますが、復旧による事業費の増加や工期の遅れはないのでしょうか。

○立野ダム建設に要する事業費についてはこれまで約 917 億円を予定しておりましたが、事業費を約 1,270 億円に見直すこととなりました。

○見直しの内容としましては、

・ 社会的要因の変化による増	約 1 1 4 億円増
・ 平成 2 8 年熊本地震の対応による増	約 1 0 8 億円増
・ 気象条件の変化による増	約 4 3 億円増
・ 建設資材単価の高騰等による増	約 4 1 億円増
・ 事業進捗に伴い必要のとなった 計画の見直しによる増	約 2 8 億円増
・ 現場条件等の変更による増	約 2 6 億円増
・ コスト縮減	約 7 億円減

となっております。

○事業費の変更にあたっては、「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」に基づき、直轄事業負担金の負担者である熊本県に意見を聴いた上で、学識経験者等から構成される委員会での審議を行い、実施したところです。

○詳しい資料については以下に掲載しています。

- ・ 第 1 1 回 白川・緑川学識者懇談会 [こちら](#)
- ・ 第 1 4 回 白川・緑川学識者懇談会 [こちら](#)

○なお、立野ダムについては、令和2年10月より本体コンクリート打設に着手し、令和5年5月に本体コンクリート打設が完了しております。